

俳句作品

俳文学同好会

鶴田 順子（栗ガ丘小）

不動尊滝の裏より睨みたる
水しぶき滝の高さに立ちつくす
一呼吸おいて鳴く蟬朝晴るる

田中 保（『雉子』主宰）

（八月六日 高山村 雷滝にて）

興 幸雄（東中）

雷滝見上げ五体に水しぶき

明王の火焰煽つや滝の風

原爆忌迎へろんと滝ひびく

滝壺の流れにけもの遊びをり

雷の滝迸り時止まる

滝しぶき涼しさ求め人集う

下川 光子（豊洲小）

滝風に吹かれま青に破れ傘

山の日にゆらめく滝の飛沫かな

一歩ずつ遠くなりゆく滝の音

長田みゆき（栗ガ丘小）

冷々と滝の飛沫に包まるる

岩間より雷鳴響かせ落つる滝

雨粒のやうな滴り裏見滝

西澤由里恵（須坂支援）

緑蔭の流れに岩の赤錆し

山道へ涼を求める広島忌

滝音に弟切草の枝葉揺れ

(十一月十九日 小布施町 玄照寺にて)

田中 保 (『雉子』主宰)

境内を流れ星のごと紅葉散る

下川 光子 (豊洲小)

冬雲に何をか叫ぶ鬼瓦

帯のごと水面さまよふ散紅葉

ロマンスカー遠くに聞くや冬紅葉

長田みゆき (栗ガ丘小)

如意瓶に吸い込まれる冬の雨

池の淵落葉流るる滝のよう

玄照寺仏は滞在神無月

ひっそりと天狗の羽団扇揺れている

西澤由里恵 (須坂支援)

石塔に錦を着せる落葉かな

雨静か池の波紋へ黄葉散る

雨垂れを受けて小菊の顔を振り

紅葉濡れ水音踊る玄照寺

鶴田 順子 (栗ガ丘小)

玄照寺楓紅葉が散り急ぐ

冬の雨山門の屋根染み透る

八ツ手咲く参道暗し玄照寺

水底の紅葉幾重も玄照寺

雨けむる古刹めぐれば冬紅葉
俳諧の徒にはなやぎて紅葉散る
おん仏冬の昏さにお在しけり
育てたる子の丈ほどに巴錦